

#### 4. 経営の基本方針

大和郡山市の下水道は昭和50年に供用開始して以来、現在で48年を経過した県内では比較的古い下水道事業である。

大和郡山市の下水道は、市街化区域を処理区域とした公共下水道と、市街化調整区域等を処理区域とした特環下水道の2つの事業により運営されており、長らく公衆衛生の向上や公共用水域における水質保全など、地域社会になくてはならない社会基盤施設として非常に重要なインフラ施設としての役割を担ってきた。

大和郡山市の下水道普及率は、令和4年度末現在において、行政区域内人口に対して処理区域内人口は約97%と普及はかなり進んでおり、処理区域の水洗化率も約95%と高い水準に達している。しかしながら、市内には約7,000人の下水道の恩恵に浴していない人口が残されており、処理区域内における下水道へ未接続の家庭の解消も課題となっている。

今後は、水洗化率の向上等による水洗化人口の増加と、自然の人口減少が均衡して、下水道接続人口や処理水量は横ばい程度が続く見通しである。しかし、水洗化率や普及率の向上が止まると、下水道普及人口が減少し始め、使用料も減少することが予測される。

下水道資産のほとんどを占める管きよ等の建設改良費については、普及拡大はピークを過ぎて今後は主に更新投資に移行していく。管きよの更新サイクルは標準耐用年数で50年、目標耐用年数で75年とされているので、内面調査等を行って、実情に合わせて長寿命化に配慮しながら効果的かつ計画的に更新を実施していく必要がある。

以上より、市民の生活環境を安心・快適に維持していくために、下記を重点的に今後10年の計画期間において実施していく。

##### (1) 更新計画の立案

管の内面調査等の施設の老朽度調査を行って、更新が必要な区間を特定するとともに、更新時期と費用が平準化されるような計画立案を行う。

また、更新時には適切な規模（ダウンサイズ他）や施工方法（管更生他）となるよう配慮し、いっそうの支出削減に注力する。

##### (2) 水洗化率の向上等

経費回収率100%以上を目指すべく、処理区域内に残る下水道への未接続家屋に対して、下水道への加入を促進するなど、使用料の収益拡大を図る。

## (3) 下水道使用料金の改定検討

「3. 将来の事業環境」の「3. 3 の使用料収入の見通し」において、料金改定の効果に伴い、令和15年度までは収支均衡が図れる見通しとなった。

公営企業会計の原則に則り、受益者負担の考え方にに基づき、より一層の経費削減と事業経営の合理化に努めるとともに、本計画期間中であっても、5年ごとの経営戦略見直しを行う時には、収集した基礎資料を基に収支均衡を図れる下水道使用料の在り方の検証を行うこととする。

なお、本計画期間中における下水道使用料金の改定検討のロードマップを以下のとおりとする。

図表4.1 大和郡山市経費回収率向上に向けたロードマップ

年度	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16
経費回収率 業績目標	100% 以上達成	100% 以上	100% 以上	100% 以上	100% 以上	100% 以上	100% 以上	100% 以上	100% 以上	100% 以上	100% 以上	100% 以上
各種 見直し 注1)		下水道 使用料 の検討					下水道 使用料 の検討					下水道 使用料 の検討
	経営戦略改 訂版策定				経営戦 略見直 し作業	経営戦略改 訂版策定				経営戦 略見直 し作業	経営戦略改 訂版策定	

注1) 「6. 経営戦略の事後検証、改定等に関する事項」に基づき行う経営戦略の見直し時期に収集した資料を基に下水道使用料の改定検討を行うものとする。